



県民検定を使って地域起こし！

県民検定協会

目次

県民検定とは？

県民検定の考え方

県民検定の問題の作り方1

県民検定の問題の作り方2

県民検定の問題の作り方3

県民検定の活用法1

県民検定の活用法2

県民検定を活用して地域起こし1

県民検定を活用して地域起こし2

県民検定を活用して地域起こし3

最後に

県民検定とは？

県民.comとの提携から始まった。



県民.comとは？

全国の県人会・ふるさと会のポータルサイトからスタート。
地域情報や自治体情報が満載。
地域のここしかない！特産物を販売。
地域に根差したゲームを発信。

県民検定の考え方

収益を上げるためのビジネスモデル。
コンテンツを加工して・・・

会場を設けて、試験を実施する。
各種メディア向けのアプリを発信。
出版も・・・



県民検定の問題の作り方1

地域を知るためのツールとして使うため問題を作ってみる。
徹底的なヒアリングから始める。
本当に、よそ者は地域を知らないか？

すると、地域の人を知っている地域情報（良い点、悪い点）と、外部の人（よそ者）が見た地域情報とのギャップが出てくる。

ヒアリングを基に問題を作ってみると、意外な所に“価値”があるものが転がっている事が分かってくる。

県民検定の問題の作り方2

資料収集の手段

デスクワークでの資料収集

- ・インターネット
- ・各種資料

チラシ、パンフレット、新聞・雑誌記事や広告
テレビ・ラジオ番組、フリーペーパー……

フィールドワークでの資料収集

- ・地域を歩く
- ・地域の人に聞く(ヒアリング)

県民検定の問題の作り方3

問題を作ってみると・・・

地域の歴史、文化、地理、人物、故事来歴、トリビア
ここにあるお地蔵さんは何？
が分かってくる。

その項目の形を変えて問題にしてみよう！

直接回答方式

○○○○とは何？

2択～4択

○○○○とは何？ → 回答から選択する

県民検定の活用法1

2択～4択式の問題を作ってみよう！

- ・まず、問題と正解を作る。
何が問題になるかな？
- ・それから、他の回答を作る。

正解の他の回答を作る楽しさ、を味わおう！

- ・問題を作った資料を読み返す。
- ・地図を見よう。
- ・郷土(地域)の歴史を知ろう。
特に地名は代々古いものが残っている。
- ・引っかけ問題はどうか作るの？

県民検定の活用法2

県民検定の問題を作る時は、

- ・子供と大人で分ける必要がある。
持っている常識と経験の差が出る事があるので。

問題を作るための情報収集の範囲を、個人ごとに決める。

- ・資料を集める場所・領域を決める。
デスクワークの担当も含む。
- ・そこに出かけて資料を集める。

戻ってから資料を読んで

- ・タネになりそうな項目を書き出す。
- ・事実かどうか、確認する。
確認する方法・ツールは？

県民検定を活用して地域起こし1

地域起こしに活用する場合は、問題の取り上げ方と作り方を特定しなければならない。

必ず、地域の人と外部の人が一緒になって考える。

フィールドワークやデスクワークで問題を作った後、検討会で地域の良い点と悪い点を列記する。

一つ一つの項目ごとに意見交換する。批判はしない。

出てきた意見を検証していく。

県民検定を活用して地域起こし2

県民検定を活用して洗いだされた意見を実行した場合に、予想される問題点を上げてみる。

その解決策を考える。

解決策や具体策を実行する手順を考える。

実行した後は、

実行 → フィードバック → 検討 → 再実行

県民検定を活用して地域起こし3

地域起こしの具体案のキーワードは、「雇用創造」

- ・地域の活性化
中心市街地活性化、農村振興、林業の復活・・・
- ・介護・医療
- ・観光振興
- ・ICTを利活用しての雇用創造・人材育成

地域に根差した推進を！

最後に

県民検定の問題作りを楽しもう！

こども達と一緒に遊ぼう！

地域の活性化は、楽しみながら進めましょう！

県民検定協会のモットーは、
「おもしろくて、ためになる」